

こばと子育て支援センター便り

5月

社会福祉法人愛育福祉会 認定こども園こばと保育園

住所 延岡市大武町5299

電話 35-3737



昭和50年(1975年)こばと保育園が開園しました。今年は40周年を記念し、5月23日(土)に文化センター大ホールにて「中川ひろたかコンサート」を開催します。市民の皆様へ感謝の意を込めてご案内しているところです。当日は、全児の参加の程よろしくお願い致します。

さて、今年も「おだいっさん」で4月18日(土)に地域を回りました。たまたま、インフルエンザでの休園児が多かったため、少人数の参加でしたが、たくさんのご接待をいただきました。特に、100人分の小袋を用意して待っていてくださった地域もありました。わざわざ「まだ来てないが」と電話をくださる地域もあり、40周年の間に「地域の宝物」として子どもたちを見守ってくださる心に感謝です。

*****筋(もやい)*****

園庭の木々も山々も緑が濃くなりました。田植えされたあぜ道の散歩が楽しみです。

<食農いろはかるた>

① お米は 日本の宝もの

日本の国土の七割が山だ。雨が川を通して山の栄養を田んぼに運んでくれるので無肥料でも米は一反当たり二百キロ近くはとれるそうだ。



江戸時代の人口は約三千万人で農地は三百万町歩だから一人当たり一反で生きていたことになる。～略～ 稲のもっともすぐれている性質は、同じ田んぼで毎年作れるということだ。それは田んぼに水を張るからだ。この水が地下水となり、田んぼの中ではオタマジャクシやゲンゴロウや赤トンボを育て、日本の美しい風景をつくっている。これは日本人が日本の米を食べることによって支えられている風景なのだ。米を食べないということはせっかくの宝ものを自分から手放しているようなものだ。

② 食わせん 牛が肥る

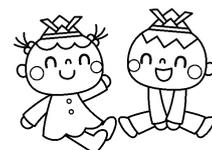
ある村に立派な牛を飼っている人がいた。よく肥って毛並みもつやつやしていて、ほれほれするような牛だ。村の人たちだけではなく遠くからも見物人がおしかけた。「なにを食べさせればこんなに肥るのですか」とみんな同じ質問をする。飼い主の答えはいつも同じで「な一も食わせておりません」

一方、同じ村にとってもやせこけて、いまにもたおれそうな牛を飼っている人がいた。だれも見に来ないし、訪ねる人もいないのに、「いくら食わせてもちっとも肥らん」飼い主は村じゅうをぼやいて歩いてみんなから笑われている。

これが「食わせん牛が肥る」という話だ。

さて、この二人の話を比べてみて、どう思いますか?

これは「そんなことはありえない」というたとえ話なんだよ。



農業は自然界や動物が相手だから、うそが通用しない。努力した分しか報われない。努力した分はかならず報われる。同じように見える田んぼも牛もそれぞれちがうんだ。村の人たちはその持ち主をみんな知っている。稲も野菜も家畜も、それを栽培したり飼育したりしているその人そのものを表しているわけだよ。口先だけで、なにをいってもだめだ。「論より証拠」だよ。

先月のおはなしひろば

朝のお集まりの時に、先生達がさまざまなお話をします。その内容やお話を選んだ理由、また、お話をした時の子どもたちのようすなどをお知らせします。

お話の内容

選んだ理由

子どもたちの反応



楠本佳菜子 先生 (つぼみクラス) のおはなしより

『春の花』

戸外あそびや散歩で一度は見たことのある春の花。写真を使って<何の花かなゲーム>をしながらお話ししました。お出かけた時には、探してみてくださいね。

園周辺にはたくさんの春の花が咲いています。花の名前を知ることによって身近な自然にふれて興味関心を持ってほしいと思いました。

写真を見ると、「見たことある!」「知っている!」と嬉しそうに伝えてくれました。また、クラスにも花の名前が使われていることに気付いた子どもたちもいましたよ

長渡教代 先生 (ちゅうりっぷクラス) のおはなしより

『大師まつり』

今年の大師祭りのポスターを見ながら大師像の大きさや由来について話しました。また、大師像はカサを持っているので雨が降る。どこに持っているか確認してみてくださいね。

大師祭りが近いこともあり、【おだいしさん】がなぜ建てられたのか?どんな風にお祭りが始まったのかを知って欲しくて選びました。

ポスターを見ると「うわ〜おだいしさん」とみんなが知っていました。銅像の大きさや建立された時期を話すとビックリした表情も見られましたよ。

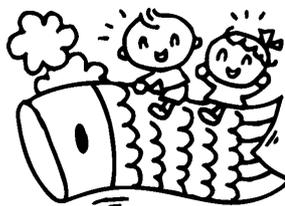


児玉淳子 先生 (ひまわりクラス) のおはなしより

『こどもの日』

中国では、鯉が逆流を上っていくということで、すくすくと育ちますよという言われがあることをお話ししました。こいのぼり行進について、こいのぼりを作って地域の方に配ることも話しました。

こいのぼり行進をする日が近いこともありお話ししました。



「鯉ってすごいね!」「どこにいるかね!?!」「鯉を探したいね〜」と目を輝かせながら聞いていましたよ。

<5月の主な行事>

- 17日(日) わいわいワンパーク : 延岡総合文化センター
23日(土) 愛育福祉会40周年記念事業
「中川ひろたかコンサート」: 延岡総合文化センター
25日~29日 評価コンクール期間 (おやつ試食・血圧測定
28日(木) お楽しみ会(子ども赤十字開講式)

お弁当の
おしらせ



16日(土)

27日予定)

すくすく (保健・健康 等)

ぎょう虫検査 11日配布
検尿 18日配布

・ぎょう虫検査、尿検査があります。

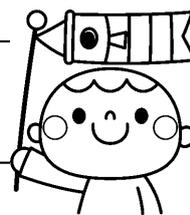
ぎょう虫検査は、おなかの中にぎょう虫が寄生していないかを検査します。

尿検査は、おしっこに糖やたんぱく質が出ていないか、潜血ないかを検査します。

大切な検査ですので、配布されましたら必ず提出をお願いします。

- ・インフルエンザの発生がまだまだ心配されます。発熱等の症状がありましたらご連絡させていただきますので、早めの受診をお願いします。

あ・の・ね (地域情報・つばやき 等)



4月23日・24日 こいのぼり行進をしました!

大武、栗野名、柚木田地区、童夢館のある天神小路などを手作りのこいのぼりを持って行進しました。

「こんにちは〜!」と元気な声で挨拶をしながら、出会う方々にこいのぼりをお渡しすると、「あら!うれしい!」と皆さん笑顔で受け取ってくれました。市役所や児童相談所、地域のお店も巡りました。※いこいの広場前の壁面に写真を掲示していますので、送迎の際にご覧ください。



愛育福祉会創立40周年記念 特別公演

中川ひろたかコンサート

日時 平成27年5月23日(土)10時開演

場所 延岡総合文化センター

※詳細は4月23日付配布の文書にてご確認ください!

- ★5月の保育料振替日は5月25日(月)です。
- ★持ち物にはすべてお名前をご記入ください。
- ★夕食利用の場合は、12時までにご連絡ください。

5月も引き続き家庭訪問のご協力をよろしくお願いいたします。

活動計画

☆月のことば

やねより高い こいのぼり♪ みんなで元気にお空へジャンプ!!

☆生活のめあて

手洗い、うがいをしっかり行い、清潔にしよう

☆活動のめあて

戸外で思いっきり身体を動かそう



領域	週	ひまわり	ばら	すみれ
言葉 葉 ・ 表 現	1	←	詩の暗唱	→
	2	「えんぴつのき」 ・メロディオンをしよう 「チューリップ」	「えんぴつのき」 ・ワーク活動 ～正しい鉛筆の持ち方で線をたくさん書こう～	「あたまのうえには」 ・言葉あそび
	3	・歌を歌おう 「かえるのうた」	・ゲームあそび	・楽器あそび ～カスタネットを使って色々なリズムを鳴らそう～
	4	・発表をしよう ★硬筆 27	～イス取りゲーム、フルーツバスケット ★英数～8・15・22	
		★詩吟～13・27		
造 形	1	←	絵を描こう	→
	2	「野菜の花」 ・みんなで絵を描こう(共同制作)	・ハサミ、のりを使って ハミガキセットを作ろう	クレヨン 絵の具 
	3	「私たちの街」	・はじき絵あそび ～てるてるぼうずを作ろう～	・紙あそび ～ちぎって道を作ろう～
	4	・作ってあそぼう 「廃材を使って」 		・砂遊び ～お山、団子作り～
人間 関 係 健 康	1	・散歩をする 「どんな花が咲いているかな」	・戸外でのびのび身体を動かそう かけっこ	・体をたくさん動かそう ～なわとびに触れる中で
	2	「虫をみつけてみよう」	リレー 鬼ごっこ	なわとびを回したり、ジャンプしたり、なわとびの上を歩いてみよう～
	3	・曲に合わせて身体を動かそう	だるまさんがころんだ ・触れ合いあそび	
	4		★ 体 育 ～ 13・20・27	・散歩を通して自然に触れよう
活 動 計 画	週	ちゅうりっぷ	つぼみ(1)	つぼみ(0)
	1	・園の生活リズムに慣れよう 食事、排泄、お昼寝など	・リズムあそび ～動物のまねっこをしたり、保育者やお友だちと触れ合って表現を楽しもう	・リズムあそび ～保育者と触れ合い楽しもう
	2	・のびのびと身体を動かそう グラウンドでかけっこ 大型固定遊具あそび	・散歩 ～誘導ロープを握って、春の草花を見つけよう	・テラスあそび ～天気の良い日は、外気浴をしよう
	4	・春の虫や草花にふれよう 名前を言ってみよう	・制作～絵の具、クレヨンで描こう	・制作 ～絵の具を使って感触を味わおう